

## 海洋建築物の事例に関する調査研究

1999 年と 2015 年の比較：閉鎖施設に着目して

Studies about case of oceanic architecture

Comparison of 1999 and 2015 of the closed oceanic architecture

○宮川駿也<sup>1</sup>, 畔柳昭雄<sup>2</sup>, 菅原遼<sup>3</sup>

\* Shunya Miyakawa<sup>1</sup>, Akio Kuroyanagi<sup>2</sup>, Ryo Sugahara<sup>3</sup>

Abstract: Investigation of oceanic architecture has not been sufficiently investigated since previous studies of 1999. Therefore the current location situation can't be grasped. Therefore, in this study, we conducted a case study of oceanic architecture which exists in Japan. As a result, I confirmed the location situation of the oceanic architecture. Furthermore, by comparing the findings with past cases were clarified the tendency in the closed facility.

### 1. はじめに

海洋建築物の事例調査は、既往研究<sup>[1]</sup>で1999年に行われているが、その後の経過についての調査が十分になされておらず、新たに閉鎖及び撤去された施設の把握がされていない。

そこで本研究では、海洋建築物の再調査を行い、閉鎖や撤去が確認された事例について考察する。

### 2. 調査概要

まず、本調査では Google Earth を用いてその衛星からの画像を基に、汀線よりも海側に立地し潟も含めた建築物の抽出を行い、各施設のホームページにより情報の整理を行った。

次にそれらの結果と既往調査<sup>[1][2][3]</sup>を加えたものを1999年と比較し考察を行った。

Table 1. Example

NO.	名称	機能	竣工年	1999有無	2015有無	NO.	名称	機能	竣工年	1999有無	2015有無
1	回天発射訓練基地跡	文化施設	1937	○	○	46	シー・タイガー・クルフスポート	飲食施設	1991	○	○
2	太田屋旅館 鹿島店	宿泊施設	1957	○	○	47	エストレーヤ	観覧施設	1992	○	×
3	さざ波	飲食施設	1960頃	○	○	48	トロピカルインパームストーン	飲食施設	1993	○	○
4	国民宿舎 鹿島	宿泊施設	1962	○	×	49	下田海中水族館 アクアドームベリ一号(二代目)	展示施設	1993	○	○
5	浜部海賊料理 (旧名:磯渡し)	飲食施設	1963	○	○	50	ヨンドン	飲食施設	1993	○	×
6	金指釣具店	商業施設	1964	○	○	51	ホテルシブ シンホニー	宿泊施設	1993	○	×
7	水工亭	飲食施設	1964	○	△	52	マリナル呼子	ターミナル施設	1994	○	○
8	白浜海中展望塔 コーラルプリンセス	展望施設	1967	○	○	53	マリーネストランドルフィン	飲食施設	1994	○	×
9	国民宿舎 能美海上ロッジ	宿泊施設	1967	○	○	54	永海展望塔 オホーツクタワー	展望施設	1996	○	○
10	巖香亭(旧名:海宝)	飲食施設	1967	○	○	55	海遊人マリーナ クラブハウス	レジャー施設	1996	○	○
11	海上レストラン 御座船	飲食施設	1968	○	×	56	クイーンオブカメリア	宿泊施設	1997	○	×
12	磯料理 離宮	飲食施設	1968	○	○	57	河浦町海上コテージ(旧名:神島海上コテージ)	宿泊施設	1999	○	○
13	浮橋	飲食施設	1969	○	○	58	三重大学艇庫	体育関連施設	不明	○	○
14	串本海中展望塔	展望施設	1970	○	○	59	牛の首フィッシングセンター	レジャー施設	不明	○	○
15	フセナ海中公園 海中展望塔	展望施設	1970	○	○	60	海上カキ焼き 幸栄丸	飲食施設	不明	○	○
16	海中天然ミュージアム 足摺海底館	展望施設	1971	○	○	61	原商店	商業施設	不明	○	×
17	武山ビル	商業施設	1971	○	×	62	アクアポリス	展示施設	1975	×	×
18	みとこ龍宮荘	飲食施設	1972	○	×	63	なにわの海の時空間	展示施設	2000	△	△
19	レストラン 海上荘	飲食施設	1972	○	×	64	マリナーパークくまの灘	レジャー施設	2001	○	○
20	ホテルニューアカオ	宿泊施設	1973	○	○	65	ワールドカップ メガパーク	観覧施設	2002	△	×
21	玄海海中展望塔	展望施設	1974	○	○	66	清水港魚釣り公園	レジャー施設	2003	△	×
22	大阪府立青少年海洋センター	教育施設	1975	○	○	67	玄海海上温泉バリア(旧名:玄海福祉センター)	入浴施設	2003	○	○
23	須磨海釣り公園	レジャー施設	1975	○	○	68	体験学習館 マーレリッポ	レジャー施設	2004	○	○
24	アクアスクール 赤崎小	教育施設	1976	○	△	69	T.Y.HARBOR RIVER LOUNGE(旧名:WATER LINE)	飲食施設	2006	○	○
25	伊豆・三津シーパラダイス 展望観覧席	観覧施設	1977	○	○	70	八景島シーパラダイス 海上レストランセンブリチェ	飲食施設	2006	○	○
26	浦島竜宮荘	飲食施設	1978	○	×	71	とっとパーク小島	レジャー施設	2007	○	○
27	かつら海中公園海中展望塔	展望施設	1980	○	○	72	海上 屋上三軒屋	飲食施設	2009	○	○
28	海賊料理 龍宮	飲食施設	1980	○	×	73	海のダイニング シロクマ	飲食施設	2012	○	○
29	海上レストラン 紫津浦	飲食施設	1980	○	△	74	正立食堂	飲食施設	不明	不明	○
30	加賀観光ホテル 浴場	入浴施設	1982	○	○	75	もりや商店	飲食施設	不明	不明	○
31	和歌山県立自然博物館	展示施設	1982	○	○	76	海女の小屋 海上亭	飲食施設	不明	不明	○
32	戸削商船高等専門学校 実習船係留場	体育関連施設	1982	○	○	77	海楽園 海上浮御殿	飲食施設	不明	不明	○
33	上島町弓削体育館	体育関連施設	1982	○	○	78	胡蝶園	宿泊施設	不明	不明	○
34	寺泊水族博物館	展示施設	1983	○	○	79	あご湾つりセンター	レジャー施設	不明	不明	○
35	魚鮮問屋栄丸商店	水産関連施設	1983	○	○	80	錦向井ヶ浜遊バートロピカルガーデン	レジャー施設	不明	不明	○
36	海上レストラン 潮騒	飲食施設	1984	○	×	81	新庄漁協島の巣魚釣場	レジャー施設	不明	不明	○
37	西ノ浦フィッシングセンター	レジャー施設	1986	○	○	82	あかぐり海釣り公園	レジャー施設	不明	不明	○
38	海中魚処 萬坊	飲食施設	1988	○	○	83	福岡市海釣り公園	レジャー施設	不明	不明	○
39	ルネッサンスリゾート沖繩 コーラルシービュー	飲食施設	1988	○	○	84	飯屋湾遊漁センター	レジャー施設	不明	不明	○
40	シーサイドもちち マリゾン	商業施設	1989	○	○	85	ジャンボフィッシング村	レジャー施設	不明	不明	○
41	GO&GOスナイパーゲーム(旧名:大航海体験館)	レジャー施設	1989	○	○	86	海上カキ小屋	飲食施設	不明	不明	○
42	玉野会食	飲食施設	1989	○	×	87	喜平寿司	飲食施設	不明	不明	○
43	フローティングアイランド	展示施設	1989	○	△	88	シーサイドレストランテ	飲食施設	不明	不明	○
44	函館ジェットホテルターミナル	ターミナル施設	1990	○	×	89	浮御殿うきつき弁天	祭儀施設	不明	不明	○
45	ぶかり棧橋ピア21	ターミナル施設	1991	○	○	90	アミーマンボス	宿泊施設	不明	不明	○

○:営業(現存) ×:撤去 △:閉鎖(現存)

1: 日大理工・学部・海建,CST,Nihon-U. 2: 日大理工・教員・海建,Prof,CST,Nihon-U.,Dr.Eng.  
3: 日大理工・教員・海建,Prof,Assistant,CST,Nihon-U

### 3. 海洋建築物の立地状況と動向

調査結果の 90 事例を Table1. 既往調査 61 事例(1999 年)の立地と現存の状況を Figure1 に示す. 本調査で 71 事例の現存と 19 事例の撤去を確認できた. また, 現存する 71 事例のうち営業施設は 66 事例であり, 残りの 5 事例は閉鎖施設であった. 営業している 66 事例の機能を分類すると, 飲食施設 (21 事例), レジャー施設 (15 事例), 展望施設 (7 事例), 宿泊施設 (6 事例), 展示施設 (3 事例), 体育関連施設 (3 事例), その他 (11 事例) に分類できた. その中でも, レジャー施設を見ると 1999 年では 4 事例であったが, 現在では 15 事例と増加していることが分かった. 次に, 既往調査 [1] [3] の 61 事例を比較し, 動向を見ると, 営業している施設が 41 事例, 撤去された施設が 16 事例, 閉鎖したが現存する施設が 4 事例確認できた. それらの立地状況を見ると, 四国地方や中国地方において閉鎖している施設が多く見られた. 特に四国地方では, 14 事例のうち 9 事例が閉鎖していた. 一方で九州地方では, 10 事例のうち閉鎖したのは 1 事例のみであった. これらの閉鎖された施設を竣工年代で見ると, 1990 年代の閉鎖率が最も高く 14 事例中 6 事例であった. それに対して 1960 年代の閉鎖率は 11 事例中 3 事例であった.

### 4. 閉鎖施設の特徴

機能分類を Figure2 に示す. 形態による違いを Figure3 に示す. 撤去された施設と現存する閉鎖施設を合わせた 20 事例を見ると, 飲食施設が最も多く 11 事例あり, 半数以上を占めていた. 次に, 設置形態を見ると, 離岸連結型が 12 事例, 接岸接水型が 6 事例, 接岸着地型が 2 事例が確認できた. さらに, それらの基礎形式をみると, 離岸連結型は浮遊式 (10 事例) と有脚式 (2 事例), 接岸着地型は着底式 (1 事例) と有脚式 (1 事例), 接岸接水型は着底式 (1 事例) と浮遊式 (2 事例) と有脚式 (3 事例) であり, 閉鎖事例の半数は離岸連結型の浮遊式であることがわかった.

### 5. おわりに

本研究では, 全国の海岸線調査により 71 事例の海洋建築物が確認できた. また, 1999 年と 2015 年の比較により, 20 事例の閉鎖した施設を確認した. さらに, 機能や立地状況, 年代, 設置形態, 基礎形式による傾向を把握した.

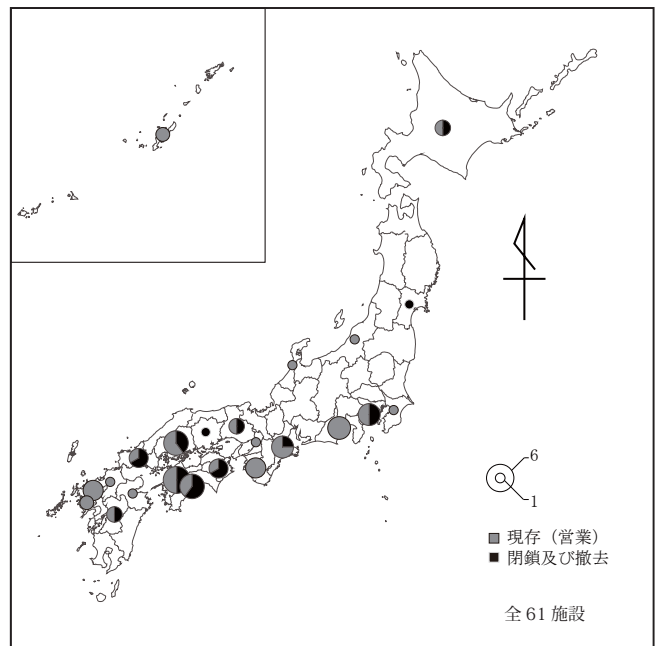


Figure1. Location status of oceanic architecture

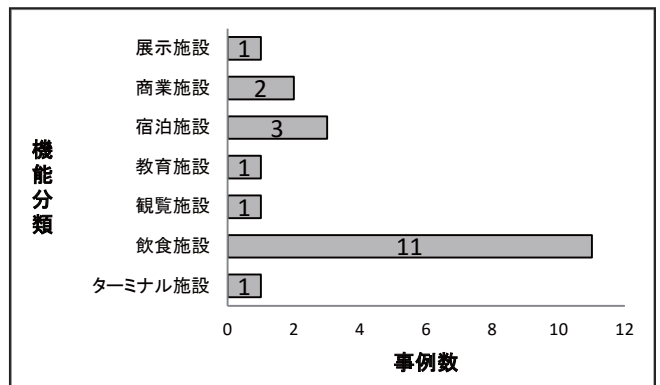


Figure2. Classification by function

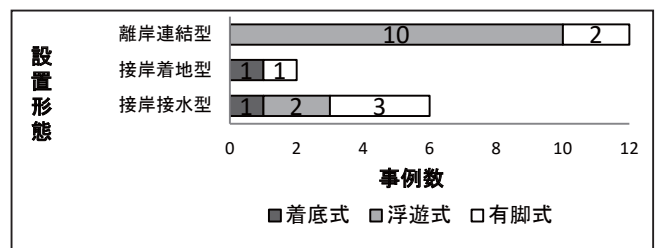


Figure3. Classification by installation mode and basic format

### 6. 参考文献

- [1] 佐々木隆三, 畔柳昭雄: 「平面系から捉えた海洋建築物の形態構成に関する研究」, 日本建築学会計画系論文集第 546 号, 315-320, 2001 年 8 月
- [2] 竹内寛偉, 畔柳昭雄, 坪井塑太郎: 「海洋建築物の変遷に関する研究」, 平成 25 年度日本大学理工学部学術講演会論文集, 645-646.
- [3] 野口憲一: 「海洋建築物: 国内の事例」, 2015 年度日本建築学会大会, 研究協議会資料, 13-18.